

"The Quartet Berlin-Tokyo sets their formal boldness repeatedly but always with a refreshment."— *Hannoversche Allgemeine*



QUARTET BERLIN TOKYO

ルネスクラシックシリーズ VOL.17  
クアルテット ベルリン トウキョウ  
**Quartet Berlin Tokyo 岡山公演**

2018年 2月10日(土)

会場 ルネスホール 開演 16時 《開場 15時30分》

曲目

ハイドン 弦楽四重奏曲 第76番二短調 op.76-2 「五度」

バルトーク 弦楽四重奏曲 第1番

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第9番 作品59-3 八長調 「ラズモフスキー3番」

守屋剛志(第一ヴァイオリン)

モテイ・パヴロフ  
(第二ヴァイオリン)

ケヴィン・トライバー  
(ヴィオラ)

松本瑠衣子(チェロ)

《チケット》

一般 3500円 (当日4000円)

学生 1500円 (当日2000円)

《チケット取扱い》

- シンフォニーホールチケットセンター (086-234-2010)
- アルテゾーロクラシカ (086-224-6123)
- ぎんざや (086-222-3244)
- アルスクらしきチケットセンター (086-434-0010)

《主催》 QBTin 岡山実行委員会 ルネスクラシック実行委員会

《共催》 ルネスホール(NPO 法人バンクオブアーツ岡山)

《後援》 岡山県 公益社団法人岡山県文化連盟 公益財団法人倉敷市文化振興財団 RSK山陽放送 TSCテレビせとうち  
OHK岡山放送 FM岡山 FMくらしき 山陽新聞社 ベルリン日独会館

東京藝術大学音楽学部同声会 東京藝術大学附属音楽高校響親会 桐朋学園大学音楽部門同窓会

《お問い合わせ》 TEL / 090-9464-3345 (守屋) メール / qbt\_okayama@yahoo.co.jp

"The fury and the accuracy with which the young quartet was dedicated to the piece, attracted the audience into the spell of this strange yet captivating music."

— *Echo Germany*



## ♡ Quartet Berlin Tokyo カルテット ベルリン トウキョウ



2011年、武生国際音楽祭出演を機に結成。ヨーロッパ各地の音楽祭(ハイデルベルクの春、エクサンプロヴァンス、オスロ、フランクフルト・ホルツハウゼン城、ゴスラー、ラインハッセン、ダヴォス、ヒツァカー等)に招待され、ベルリンフィルハーモニー・ランチタイムコンサート、アムステルダムコンサートヘボウ、リールオペラ座、ベルリン・イエスキリスト教会、在ベルリン日本大使館、ベルリン日独センター、ヒンデミット協会主催コンサート等にて演奏、NDRやSWRのラジオで放送される。

2012年、ARD ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門にて特別賞を受賞。

2013年、イタリア・ヴェローナのサリエリ・ツィネッティ国際室内楽コンクールで第2位と聴衆賞受賞。

2014年、ベルリンのirene Steels-Wilsing Stiftung コンクールにて第3位。青山パロックス・カザール賞。オランダのオランダ国際室内楽コンクールにて優勝、併せて聴衆賞受賞。

2015年、フランス・シューベルトと現代音楽国際コンクール(オーストリア・グラーツ)にて第2位、併せてカール・ニールセン賞を受賞。

2016年、ヨゼフ・ヨアヒム国際室内楽コンクール(ドイツ・ワイマール)にて第3位。フランスのホルドー国際弦楽四重奏コンクールにて特別賞を受賞。

ハノーファー音大でオリヴァー・ヴィレ氏(クス・カルテット)に師事し、修士号を取得。エバーハルト・フェルツ、アンドラーシュ・ケラー、ドナルド・ワイラースタイン、ゲルハルト・シュルツ、ライナー・シュミット、ハイメ・ミュラー、アルテミス・カルテット、デイビッド・アルバーマン、アルディッティ・カルテットの各氏の教えも受ける。13年、14年、16年、17年度松尾学術財団より奨学金を得る。2015年より3年間、札幌・六花亭ふきのとうホールレジデンスカルテット。エクサン・プロヴァンス音楽祭よりHSBC賞2015を授与され、3年間に及び同音楽祭の大使としてパリのフィルハーモニーを含むヨーロッパ各地で演奏。現在、ベルリンを拠点に活動中。



## ♡ 守屋剛志 (モリヤ・ツヨシ) 第1ヴァイオリン



1984年生まれ。マルシュナー国際コンクール、シュボア国際コンクールにて入賞・受賞、日本音楽コンクール第2位および岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞受賞。青山音楽賞新人賞、京都芸術祭・京都市長賞、岡山芸術文化賞グランプリ、平成25年度福武文化奨励賞、平成26年度エネルギー音楽賞、平成27年度マルセン音楽賞受賞。2010年シャネル・ビッグマリオン・アーティスト。東京藝術大学附属高等学校を経て同大卒業。同大学院修士課程修了。在学中に福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。ローム・ミュージックファンデーションの奨学生として、国立ベルリン音楽大学ハンス・アイスラー卒業。ヴァイオリンを小山洋治、田淵洋子、相山久美、浦川直也、ジェラルド・ブーレ、シュテファン・ピカールの各氏に、室内楽を岡山潔、山崎伸子の各氏に師事。ソリストとして仙台フィル、東京ニューシティフィル、群馬交響楽団、京都フィル、芸大フィル、新ベルリン交響楽団等のオーケストラと共演。使用楽器は(株)日本ヴァイオリンより名器特別賞与者として賞与されているカロルス・トノーニ(1725)。

## ♡ Moti Pavlov (モティ・パヴロフ) 第2ヴァイオリン

1984年ロシアに生まれ、6歳よりサンクトペテルブルクにてヴァイオリンを始める。1992年に家族とイスラエルに移住し、ハイファのドゥニア・ワイツマン・コンセルバトワールにてヴァイオリンを学び、ロイト芸術中等学校を経て、ウィソ芸術高等学校にて数多くの室内楽を学ぶ。コンセルバトワールの卒業後、ハガイ・シャハム氏のもと研鑽を積む。2001~2004年にエルサレムミュージックセンターのヤング・ミュージシャンズ・グループとして、ピアノトリオを結成し、多くの録音がラジオ放送される。エルサレムサマーアカデミー、ケシェット・エイロン・サマーマスタークラス、パリ・ソロボンヌ大学インターナショナルマスタークラス等に参加。2004年よりテルアビブのプッフマン・メータ音楽学校にて、イレーナ・スヴェトロヴァ氏に師事し、ガートラー四重奏団の一員として多数のコンサート、ラジオやテレビに出演。2008年よりベルリン芸術大学にてウーヴェ・マルティン・ハイベルク氏に、室内楽をアルテミス四重奏団に師事。多数コンサートに出演。これまでにミリアム・フリード、イアン・グロニッチ、イスラエル・コアベルク、エドワード・ヴルフソン、ヴァティム・グルズマン、シュロモ・ミンツ、ザハール・ブロン各氏のマスタークラスを受講。ダニエル・バレンボイム氏の芸術監督によるウェスト=イースタン・ディヴァン管弦楽団やイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団に招待され出演。



## ♡ Kevin Treiber (ケヴィン・トライバー) ヴィオラ



1992年台湾に生まれ、ドイツ・フランクフルトで育つ。4歳よりヴァイオリンを始め、2009年よりヴィオラに転向。これまでにマーテ・スーチ、ニムロッド・ゴアズの各氏に師事し、現在リュウベック音大大学院にて、バーバラ・ヴェストファル氏に師事。室内楽をアルテミスカルテットに師事。また多数のマスタークラスにも参加し、キム・カシユカジャン、トーマス・リーブル、カザルスカルテット、ジュリアードカルテット等の各氏に師事。ヴィジョン弦楽四重奏団の創立メンバーとして、ゲヴァントハウス等で演奏し、2013年カールスルーエ欧州室内楽コンクールにて第2位入賞。ソリストとして、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル・モデルン、ウェンドラント交響楽団、カラアカデミーオーケストラ、リュウベック音大オーケストラと共演。また、ラインガウ音楽祭、ハイデルベルクの春、ブラームス音楽祭、ゲツァイテン音楽祭、カッセル音楽祭、シェーンベルグ音楽祭、ブクステフーデ音楽祭、ヴェルツブルク・モーツァルト音楽祭、メクレンブルク=フォアポンメルン音楽祭に参加。多数の演奏が、ドイツ文化放送、SWR、NDR、ZDF、ARTEによりテレビやラジオで放送される。ドイツ国内のみならず、フランス、オーストリア、スイス、オランダ、インド、中国にて幅広い演奏活動を行う。

## ♡ 松本瑠衣子 (マツモト・ルイコ) チェロ

1980年札幌に生まれ、10歳よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科、同大学ソリスト・ディプロマコースを経て、ベルリン・ハンスアイスラー音楽大学と同音楽大学院にてディプロムとマスターを取得し、首席で卒業。これまでに、上原与四郎、毛利伯郎、クラウディオ・ボホルケス、ダヴィド・ゲリンガスの各氏に、室内楽を加藤知子、原田幸一郎、藤原浜雄、北本秀樹、エバーハルト・フェルツ、アルテミスカルテットの各氏に師事。札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞、日本クラシック音楽コンクール弦楽部門全国大会最高位、JILA音楽コンクール弦楽部門第3位、全日本ビバホールチェロコンクール第3位入賞。旭川・ウィーン国際弦楽セミナー優秀賞、いしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞を受賞し、そのスカラーシップにより、ウィーン国際弦楽アカデミー、アスペン音楽祭に参加。また、バルト海音楽フォーラム、ギジアーナ音楽祭等に参加。ソリストとして国内外のオーケストラと多数共演し、室内楽においても“JT アンサンブルシリーズ”“ヤマハホール室内楽シリーズ”などに多々出演。平成25年度文化庁新進芸術家海外研修奨学生。

